

都市鉄道事業者レベルアップ研修 Level Up Training for Operation and Management Organization of Urban Railways		新規
対象国の条件 :都市鉄道整備を行っており、喫緊に開業を予定もしくは既に開業している国		
研修コース番号 :201984923-J002		
案件番号 :201984923		
主分野課題 :運輸交通/都市交通		
副分野課題 :		
使用言語 :英語		
案件概要 途上国の鉄道事業者を対象として、鉄道業務の部門毎の能力強化（レベルアップ）を図る。研修を通じて、①各国の実施機関の実務者育成、②日本の鉄道会社の基幹となる各部署業務の学習及び実体験を通じた、自国に活かせる鉄道運営維持・管理スキルの体得、③受講生による自国での共有・具現化、都市鉄道事業の理解促進、本邦技術の活用検討促進などが期待される。		
目標／成果 【案件目標】 鉄道整備事業が進行中で既に開業しているもしくは開業を控える途上国の鉄道事業者を対象として、鉄道業務の部門毎の能力強化を図る。日本の鉄道事業者の実務内容をもとに、安全第一を最優先に効率的な運営維持管理のために必要となる部門・職能ごとの知識を体得する。 【成果】 1. 鉄道事業の安全かつ効率的な運営維持管理に必要な部門横断的な知識の習得 2. 日本の鉄道技術の理解と活用検討促進 3. 日本の鉄道事業者の基幹となる各部署業務の学習実体験を通じた、自国に活かせる鉄道運営維持・管理スキルの向上 4. 受講生による研修知識の自国での共有・具現化		対象組織／人材 【対象組織】 都市鉄道の運営・維持管理を担う事業者 【対象人材】 ・対象組織のうち、下記部門・職能の職員 ①土木・建築 ②電気 ③車両 ④運転・営業 ⑤非鉄道事業 ・3年以上の鉄道事業の実務経験を有する者もしくは、新規開業に向けた研修を既に受けた者 ・心身ともに健康である者
内 容 （１）全体講義：日本の鉄道の特徴や安全に関する取り組みの講義（Day1-3） 公開セミナー：研修生による各国カントリーレポート発表、日本の業界関係者との意見交換 （２）部門別講義及び現地視察：「土木・建築」、「車両」、「電気」、「運転・営業」、「非鉄道事業」の部門ごとに分かれての講義と現業視察（Day4-8） ※現業視察は、工事および保守作業、車両基地作業、車両メーカー工場、運転・車掌・駅業務、駅ナカ・広報業務を想定。 （３）全体での振り返り、アクションプラン作成・発表・講評（Day9-10） なお、各年の対象分野は上記のうち2-3分野を想定しており、1事業者から各分野1名ずつの参加を想定している。		本邦研修期間 2019/10/6～2019/10/19 担当課題部 社会基盤・平和構築部 所管国内機関 JICA東京（経済環境） 関係省庁 実施年度 2019～2021
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ		